③ 製品を取り付ける相手配管の**取付面間寸法L及び偏心eがカタログ仕様表の「取付時寸法許容値」内である**ことを確認して下さい。
許容値を超えている場合は配管を補正して下さい。

④ **対角線ごとに均等にスパナ等で締め付けて下さい。**
●ボルトを1/4～1/2回転ずつ締めていき、**片締めにならないよう**に注意して下さい。

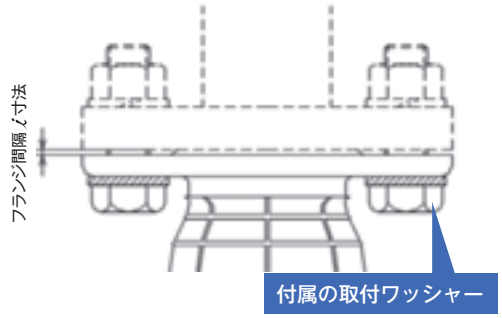
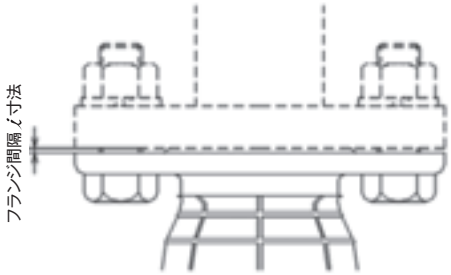
⑤ 適正締付量は、ゴム継手のフランジと相フランジの間隔 ℓ（図1・Liteの場合図2参照）を目安とします。
●ℓを3ヶ所以上測定し、カタログ仕様表内であることを確認して下さい。

⑥ もう一方のフランジについて、①～⑤を実施して下さい。

⑦ ポンプ配管系統の場合、すべての準備が整いましたら、ポンプの取扱説明書に従って、ポンプの運転を行って下さい。
●圧力は徐々に上げて下さい。
●締め切り運転はしないで下さい。

Liteの場合

図2

形状		
備考	**問題ありません。** ●適正な隙間間隔 ℓになっています。 ●付属ワッシャーを使用しています。	**使用できません。** ●付属ワッシャーを使用していません。（フランジが損傷する恐れがあります。）

ユニオン形フレキの取付方法及び注意点（図3参照）

① 製品のユニオンナットを緩めてユニオンつばを両側とも取り外して下さい。

② 製品を取り付ける配管の両端にユニオンナットを通してからユニオンつばを取り付けて下さい。

③ 製品を取り付ける相手配管の**取付面間寸法L及び偏心eがカタログ仕様表の「取付時寸法許容値」内である**ことを確認して下さい。
許容値を超えている場合は配管を補正して下さい。

④ 製品を配管の間に入れ、両側のユニオンナットをユニオンねじに交互にねじり込み、仮締めした後、
パイプレンチ等を2本使用して本締めして下さい。
※締付時に製品本体へねじれや引っ張り等の力がかからないようにして下さい。

図3